

# 電気工事ウーマン

## ～見えない電気に、確かな責任～

**本名：稲妻（いなづま）ひかり。**

**出身地：福島県郡山市。**

#8

父は地元で長く働く電気工事士。  
派手な仕事ではないが、災害や停電時には必ず呼ばれる存在だった。  
幼い頃、台風の翌日に父と一緒に現場へ向かい、復旧した瞬間に  
明かりが一斉についた光景を、彼女は今でも覚えている。  
高校卒業後、工業系の専門学校へ進学。  
電気理論と施工を基礎から学び、地元の電気施工会社へ就職。  
「見えないものほど、正確に」という教えを胸に現場へ出た。  
女性という理由で心配されることもあったが、彼女は言い訳をせず、  
図面、施工、確認を一つずつ積み重ねた。  
いつしか現場では、「稲妻さんに任せれば大丈夫」と言われるようになる。  
電気は、人の生活と仕事を止めないためのインフラ。  
彼女の仕事は目立たないが、欠ければ成り立たない。  
今日も郡山の街で、当たり前前の明かりを守るために、確実に、静かに  
スイッチを入れている。

